わがまちの企業訪問 ◇4◇

大旺鋼球製造株式会社北海道工場

〇北海道工場／〒079-1371　芦別市上芦別町118番地125　☎0124-23-0061
〇本社／〒547-0003　大阪市平野区加美南５丁目13番27号　☎06-6791-6691

■代表取締役社長　宗田三郎
■設立年月日　1931(昭和６)年５月
■北海道工場　2010(平成22)年１月操業開始
■従業員数　104人(うち北海道工場35人)
■事業内容　小径玉軸受け鋼球製造
※北海道工場のほか、大阪府八尾市に工場を持つ。

さまざまな産業を支える高精度の鋼球を生産

鋼球専門メーカーとして大阪府を拠点に83年の歴史を持つ同社。主に北日本精機㈱への小径玉軸受け（ベアリング）用鋼球の供給を目的として本市に工場を設立し、クローム、ステンレスを材料とする1㍉から8㍉の小径鋼球を製造しています。

進出にあたっては、本市の生活基盤が確立されている住環境、災害の少ない恵まれた自然環境が決め手となったとのことで、北海道工場の出荷額は、操業年の2010(平成22)年1億7000万円から2013(平成25)年には4億5000万円と、順調に業績を伸ばしています。

今後、品質、価格など海外との競争が激しくなっていく中にあって、現在1万分の1㍉レベルの高精度な品質の技術をさらに向上させ、生産規模の拡大も図るといいます。

宗田三郎社長は、「創業以来の経営理念である『誠意を尽くすこと』、『責任を果たすこと』、『技術を練磨すること』を厳守し、北海道工場の役割はますます重要になる」と話しています。

光学式自動検査機による外観検査。このほか硬さや形状などさまざまな検査を経て高精度の鋼球が出荷されます

わが社のフレッシュさん

六田（ろくた）　茜（あかね）子さん(21)

滝川市出身。昨年春旭川工業高等専門学校を卒業し入社。現在は外観検査部門で製品チェックを行っています。
今年度「北海道ものづくりなでしこ」にも選ばれました。「わずかな傷でも支障を来すので絶対に見逃せません。製品がさまざまな分野の機械に使われ、支えていることを思うと、やりがいがあります」

指揮者先頭

指揮者先頭とは、「指揮者は常に皆の先頭に立って行動する必要がある。」という意味で、私が考えた大切にしている言葉です。

No. 27

全国的に不安定な気候だった8月、局地的集中豪雨や土砂災害もあり被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。

幸い芦別においては、大きな災害には至りませんでしたが、日頃の備えを万全にする大切さを改めて感じました。何より災害の無いことを願うものです。

さて今月27日に、内閣府からの要請により急きょ上京することになりました。内容は本市が地方分権改革に関して提案した意見が重点項目として採用され、その審議会に参加するためのものです。人口減少問題、社会保障問題、さらには地方への権限移譲について、私たちのような基礎自治体が国に対して直接声を届けることができるのは大変意義のあることだと思っており、これからも各種の制度にのっとり、このような活動にも力を入れていくつもりです。

まだまだ残暑が続く日があろうかと思いますが、くれぐれも体調管理にご留意ください。

（平成26年8月21日・記）

芦別市長　清澤　茂宏

真夏の強い日差しの下行われた「キラキラ☆フェスタあしべつ2014」は多くの皆さんにご来場いただき盛況となりました